

群馬県立中央中等教育学校学校評価一覧表①（平成29年度版）

※赤字は、昨年度の反省を踏まえ、本年度変更。

（様式1）

羅針盤			方策			7月実施		12月実施	
評価対象	評価項目	具体的数値項目				第1回点検・評価		第2回点検・評価	
			自己評価 (前期/後期)	外部アンケート等 (前期/後期)	改善策	自己評価 (前期/後期)	外部アンケート等 (前期/後期)	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 豊かな人間性、想像力を育成する教育活動を行っていますか。	①自ら積極的にあいさつをしていると自己評価している生徒が90%以上である。 ②意欲的に清掃活動に取り組んでいると自己評価している生徒が90%以上である。 ③自分の学校が好きだと感じている生徒が85%以上である。	A	A/A	①教師から積極的なあいさつに心がけ、継続的なあいさつ運動を展開し、家庭・地域でも同様 ②教師が共に清掃に取り組みながら、生徒の実化意識を育む指導を行い、学校外でも実践できるようにする。 ③良好な学習環境や人間関係を整える。	B	A/A	現在の取組を継続しつつ、校門指導や授業だけでなく常にあらゆる場面で挨拶の励行を実践している生徒の自己評価は悪くない。保護者評価が低い。家庭での清掃活動、環境整備につながる指導を考えた。	
	2 国際的なコミュニケーション能力を育成する教育活動を行っていますか。	④英語や外国文化に興味を持っている生徒が90%以上である。 ⑤イングリッシュキャンプやスピーチコンテストなどの英語科行事や、海外修学旅行に満足している生徒が85%以上である。	A	A/A	④英語に関する各科目の授業を英語で行うだけでなく、英語を用いる機会や場を多く設ける。 ⑤関連行事の工夫・改善に努め、生徒の意欲や関心を高める。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、4技能に加えて5領域目(発表力・伝える力)を意識した授業になるよう工夫し、実践していきたい。	
	3 日本や世界の文化・伝統を大切にする教育活動を行っていますか。	⑥全ての生徒が、学校行事や授業等で我が国や世界の国々の文化・伝統に触れる経験をしている。	A	A/A	⑥学校行事、各教科等で、我が国や世界の国々の文化や伝統に対する理解を深める学習を行う。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、生徒の規則等も前後期統一できる規則は統一する方向で見直していく。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 基礎・基本の確実な理解を図る指導を徹底していますか。	⑦授業内容を理解できていると感じている生徒が80%以上である。 ⑧少人数指導に満足している生徒が85%以上である。	A	A/A	⑦テストの結果分析を通して生徒の理解度を計り、理解度に応じた指導を行う。 ⑧30人学級に加えて、英語や数学で少人数指導を行い、個に応じた指導を行う。	A	A/A	現在の取組を継続しながら、定期考査の問題等を検討する機会を設け、生徒一人一人の理解の度合いを更に細かく把握し、指導に活かせるようにする。	
	5 生徒の学習意欲を喚起する指導が充実していますか。	⑨学習動機が明確な生徒が85%以上である。 ⑩家庭学習の習慣が身に付いている生徒が80%以上である。	A	A/A	⑨前期課程では個に応じた学習指導を、後期課程では個に応じた進路指導を、それぞれ充実させ生徒の進路目標を明確化させる。 ⑩学習時間調査等の結果分析を有効活用し、指導に役立てる。	A	A/A	職員研修(SUS研修)の機会に職員が共有した「様々な視点による生徒理解と多様性」の手法を活用する。	
	6 教師は主体的に授業改善に努めていますか。	⑪すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。 ⑫すべての教師が研究授業を年1回以上、授業参観を年2回以上実施している。	A	A/A	⑪年度当初に授業改善に係る研究テーマを設定し、研究テーマに沿った全体研修を年2回以上実施する。 ⑫授業改善の一環として、研究授業・授業参観を制度化する。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 生徒が良好な人間関係を築けるよう組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑬教師との信頼関係を築けていると感じている生徒が80%以上である。 ⑭クラスの人間関係が良好だと感じている生徒が80%以上である。	A	A/A	⑬教師からの声掛けや面談により、生徒と触れ合う機会を多く持つ。 ⑭日頃からクラス内で協働する機会を増やす。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	8 生徒は健全で健康的な学生生活を送っていますか。	⑮自分の健康について意識している生徒が80%以上である。 ⑯部活動や委員会活動に取り組んでいる生徒が75%以上である。 ⑰いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である	A	A/A	⑮「保健だより」や保健委員会活動による啓発活動を活性化させる。 ⑯部活動支援を充実させたり、ボランティア活動の紹介・啓発を行う。 ⑰部教員による生徒観察、面談、アンケート、保護者からの情報等により、いじめの実態を把握し、いじめ対策委員会を中心に、被害生徒・加害生徒の関係改善のために尽力する。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	9 各学年の特性に応じた計画的な進路指導を行っていますか。	⑱<前期課程>自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が70%以上である。 ⑲<後期課程>自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が80%以上である。 ⑲<後期課程のみ>進学意思が明確な生徒が90%以上である。 ⑳子どもの進路希望を理解している保護者が85%以上である。	A	A/A	⑱<前期課程>心理テスト等で自己理解を促すとともに、学級活動で進路意識向上を図る指導を行う。 ⑲<後期課程>積極的にデータを活用した進路指導を実践する。 ⑲<後期課程のみ>二者面談や個別指導を充実させ、生徒への支援を充実させる。 ⑳三者面談の実施や保護者会により、情報の共有を図る。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 生徒が将来の進路を選択するのに役立つ適切な情報や場を提供していますか。	㉑学校からの進路情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。 ㉒進路講演会や進路関連行事を各学年、年2回以上開催する。	A	A/A	㉑「進路だより」や「学年通信」、講演会等を通して積極的に情報を発信する。 ㉒生徒の学年や保護者の求めに対応した行事とし、企業人講師とのふれあいや高校生インターンシップなどの体験的な学習を活用する。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	11 積極的な情報発信に努めていますか。	㉓Webページを月3回以上更新する。 ㉔学校説明会や公開授業、授業参観をそれぞれ年1回以上実施する。	A	A/B	㉓学校の最新情報をタイムリーに掲載する。 ㉔学校行事として計画的に開催する。	A	A/B	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	12 保護者や地域等との連携・協力を努めていますか。	㉕学校と家庭との連絡が緊密に行われていると感じている保護者が80%以上である。 ㉖学校は、生徒・保護者による地域貢献活動を年1回以上行っている。	A	A/A	㉕PTA・学年行事や学年通信、一斉メールによる情報発信、三者面談による情報共有を積極的に図る。 ㉖生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	13 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	㉗交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。 ㉘学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A/A	㉗体験的要素を取り入れた内容とし、指導効果を高める。 ㉘安全点検結果を検証し、危険箇所の迅速な改善に努める。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	14 保護者や地域等との連携・協力を努めていますか。	㉙交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。 ㉘学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A/A	㉙交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。 ㉘学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	15 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	㉗交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。 ㉘学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A/A	㉗体験的要素を取り入れた内容とし、指導効果を高める。 ㉘安全点検結果を検証し、危険箇所の迅速な改善に努める。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
VI 生徒の安全確保を図っていますか。	13 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	㉗交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。 ㉘学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A/A	㉗体験的要素を取り入れた内容とし、指導効果を高める。 ㉘安全点検結果を検証し、危険箇所の迅速な改善に努める。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	14 保護者や地域等との連携・協力を努めていますか。	㉕学校と家庭との連絡が緊密に行われていると感じている保護者が80%以上である。 ㉖学校は、生徒・保護者による地域貢献活動を年1回以上行っている。	A	A/A	㉕PTA・学年行事や学年通信、一斉メールによる情報発信、三者面談による情報共有を積極的に図る。 ㉖生徒やPTAによる地域美化活動を実施する。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	
	15 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	㉗交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。 ㉘学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A/A	㉗体験的要素を取り入れた内容とし、指導効果を高める。 ㉘安全点検結果を検証し、危険箇所の迅速な改善に努める。	A	A/A	現在の取組を継続しつつ、各自が授業アンケート結果などを踏まえてさらに授業形態・授業内容について研究し、工夫する。	